



特定非営利活動法人自立サポートネット流山
放課後等デイサービス
Labos

営業日	(平日)月・水・木・金 (休日)土
営業時間	(平日)10:00~19:00 (休日) 9:00~18:00
サービス提供時間	(平日)10:30~17:30 (休日)10:30~16:30
法人設立日	2001年11月17日
事業所設立日	2024年 7月26日
管理者	関根 暢哉

支援方針

○自主性・自己決定を育てる

子どもたちの「やってみたい」という自主性を大事にし、小さな事柄でも自分で決める経験を積み重ねることで自己肯定感や、自己決定する力を育てていきます。

○体験(遊び)から学びへ

自ら選択したことで取り組み力が増し、多くの気づきや発見・新たな興味・学びへと発展していくと考えています。

5領域を意識した環境調整や手法などの準備を通して、学びや考え方のきっかけに繋がる声かけ、そして子どもたちの今の状態をアセスメントし、成長をサポートしていきます。



Labos

支援内容

■本人支援の内容と5領域の関連性

4つの体験活動をカリキュラムとして提供しています

- ・料理体験
- ・工作体験
- ・運動体験
- ・農業体験

それぞれ週に1回程度を目安に取り組んでいます

料理体験

◆ねらい

- ・食への興味関心の向上
- ・細かな手先の操作性を高め、調理器具の扱い方を学ぶ
- ・自分で作った(協力して作った)ものを味わう

◆内容

- ・作業内容を確認し(レシピの見える化と職員による実演)作業や役割を意識しながら取り組む
- ・実際に道具を使用し、使い方を伝える
- ・触ったり、味わったりすることで感じたことを言葉で表現できるよう促し、時に職員が代弁することで、気持ちや感覚と言葉を繋げていく

発達支援 5 領域

- 健康・生活
- 運動・感覚
- 認知・行動
- 言語・コミュニケーション
- 人間関係・社会性



工作体験

◆ねらい

- ・ 微細運動を通して、手指の巧緻性を高める、工程を確認しながら行動に移す
- ・ 目的や目標を持って作り、試行錯誤していく経験
- ・ 自分の中のイメージの表出、具現化、他者への説明の為の言語化

◆内容

- ・ 自分のイメージを表現することを促し、自由に創作に取り組む
- ・ 苦手さや安全に配慮しながら、安心して取り組める方法を一緒に考えながら行う
- ・ 発達段階に合わせて、やり方や作り方を示す方法を変え、見本や実演を組み込む
- ・ 時に計画的に数回に分けて取り組み、完成を目指す

発達支援の5領域

- 運動・感覚
- 認知・行動
- 言語・コミュニケーション
- 人間関係・社会性



運動体験

◆ねらい

- ・粗大運動を通して、身体の使い方、力加減などの感覚の理解やボディーイメージをつける
- ・体力の向上、筋力の維持・強化
- ・公平性を知り、共通のルールの中で遊ぶ楽しさを感じながら、社会性を獲得する
- ・他者を誘う機会や、自分が行いたい遊びのルール説明等を通して、コミュニケーションを取り、人間関係の構築を学ぶ

◆内容

- ・成長による身体の変化に合わせ、ボディーイメージを再認識できるような運動や感覚統合遊び
- ・遊ぶ前のルール確認をし、共通のルールや遊びやすくするための提案を行う
- ・遊びの中で感じる気持ちに共感する。悔しい気持ちにも寄り添い、気持ちの切り替えや再チャレンジする気持ちへ促す

発達支援5領域

- 健康・生活
- 運動・感覚
- 認知・行動
- 言語・コミュニケーション
- 人間関係・社会性



農業体験

◆ねらい

- ・野菜や果物を育てることで自然と繋がりを持ち、自然の大切さや育成のプロセスを知る
- ・土作りから収穫までのプロセスの中で、粗大運動や微細運動の向上を図る
- ・作物が育つまでの過程を知ることによって大変さや楽しさを知り、作物を食べた他者の感想から、達成感を得られるようにする
- ・普段食べているものが、どのようにして作られているのかを体験的に学び、食べ物大切さを認識する

◆内容

- ・育てたい作物を、選択しの中から自分で選ぶ
- ・季節の野菜や果物の土作りから収穫までのプロセスを視覚的に示す
- ・土作り、種まきから日々の水やりや観察を取り組めるようにする
- ・一人一人の感覚の苦手さなどに配慮しながら安心して取り組める方法を考える
- ・野菜作りを通して得た感覚や気持ちを表出できるように促し、収穫後の野菜の活用方法を一緒に考え計画していく

発達支援5領域

- 健康・生活
- 運動・感覚
- 認知・行動
- 言語・コミュニケーション
- 人間関係・社会性



支援内容

■家族支援

- 支援ソフトによる活動・支援内容の公開
- 家族との連携、家族参加型のイベントの情報共有
- 家庭や学校での困り感に対する相談援助
- 家族のレスパイト時間の確保のための支援(延長支援)

■移行支援

- ご要望に応じて、進級・進学の際の環境の変化にスムーズに移行できるように他機関連携や、関係機関連絡票の作成を行い、進学先で関わる方が、本児の様子や特性がわかるよう、情報提供を行う

支援内容

■地域支援・地域連携

- 関係者会議への参加
- 地域内の移動販売等を「買い物体験」として利用し、地域との交流を行う
- 必要に応じて医療機関・他施設との情報共有相談支援所や障害福祉サービス事業所、障害通所支援事業所との連携

■職員の質の向上に資する取組

- 障害理解に繋がる資格取得の推進(強度行動障害者養成研修等)
- 自治体や福祉事業団体が実施する研修等への参加
- 法人・事業所内研修の実施
 - ・虐待防止(身体拘束)研修
 - ・感染症対策研修
 - ・防災に関する研修
 - ・事業所内事例検討会
- 障害福祉に関する図書の整備

支援内容

■主な行事等

○季節の行事

(凧あげ、節分、ひな祭り、夏祭り、収穫祭、ハロウィン、クリスマス等)

○プール活動

○買い物体験

○誕生日会

事業所名		放課後等デイサービス Labos				支援プログラム		作成日		2025年		2月		24日	
法人（事業所）理念		一人一人の主体性と自己決定を重視し、本人の自立をサポートする。													
支援方針		【自主性・自己決定を育てる】子どもたちの「やってみたい」という自主性を大事にし、自分で決める経験の積み重ねを行うことで自己肯定感を育てています。 【体験(遊び)から学びへ】自ら選択したことで集中力が増し、多くの気づきや学びへと発展していくと考えます。5領域を意識した環境調整や手法などの準備、学びに繋がる声掛けを行い、子どもたちの今の状態をアセスメントし、成長をサポートしています。													
営業時間		平日日課	10時	0分	から	19時	0分	送迎実施の有無		あり					
		学校休業日	9時	0分	から	18時	0分								
支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	来所時の検温と体調確認により、子どもたちの体調管理の意識づくりを行う。 生活場面での視覚的に理解しやすい工夫(絵での表示や具体的な指示)を行うことで身支度、片付けの習慣等のスキルの向上を図る。 野菜・果物作り(敷地内の畑、プランター、果樹による栽培収穫)や学習を行うことで、食への関心を高め、季節の食べ物を知る。 料理体験で実際に調理をすることで、調理器具の扱い方を学習し、生活力を獲得してしていく。													
	運動・感覚	敷地内の庭や運動具を使って、楽しく遊びながら運動を行う。遊びの前にラジオ体操を取り入れ、筋力維持や強化を図る。 手作りの知育玩具や農作業・料理の工程の中に、指先の細かな動作を取り入れることで、手先・指先の微細運動の促進に繋げる。 掴む、力の加減、支える等の要素を取り入れた遊具や体験活動を行い、楽しみながら身体感覚を養う。													
	認知・行動	工作体験により、さまざまな材料に触れながら、作品制作を行う。制作の過程で材質の感覚や変化を感じたり、空間把握の認知形成を図っていく。 自らやりたいことを選択することで、自己決定を向上を育む。発達段階に合わせたスケジュール管理を行い、タイマーや視覚的にスケジュール確認できる掲示物を活用する。 認知の特性を踏まえ、適切な認知・行動に繋がる様に日々声掛けやABA当の支援やりフレーミングで行動の変容を促す。													
	言語 コミュニケーション	言語だけのコミュニケーションではなく、ジェスチャーや絵などさまざまなツールを使い一人一人が表現しやすい方法で支援する。 体験活動の中で子どもたち同士で役割分担を相談したり、ルールを伝え合ったりすることで、段階的に他者理解を促していく。 新学期や新しい利用者が増えたタイミングでの自己紹介や他己紹介を行う。													
	人間関係 社会性	協同遊びを通して、ルールを学び社会性が身につけられるように促していく。支援者が遊びに参加し、モデルとなることで適切な距離感や関係性の築き方を学びを図る おやつ時間におもちゃの通貨を使いおかしを買ったり、実際に近隣のスーパーに買い物をしたりすることで、外出先(お店)でのルール、買い物の流れ、お金の計算を学ぶ。 支援者との関わりの中で、安心できる関係性を築き、同年代との関わりに発展させていけるよう支援する。													
家族支援		支援ソフトによる活動・支援内容の公開 保護者面談、関係機関との連携 子育て支援相談等					移行支援			進級・進学の際の環境変化にスムーズに移行できるよう支援 要望により、進級進学に関わる情報提供と相談援助					
地域支援・地域連携		地域のお店や移動販売での「買い物体験」として利用し、地域との交流 必要に応じて医療機関・他施設との情報共有 相談支援所や障害福祉サービス事業所、障害通所支援事業所との連携					職員の質の向上			児童発達支援管理責任者、強度行動障害支援者養成研修の資格取得支援 自治体や福祉事業団体が実施する研修当への参加 事業所内における図書の整備当、所内・法人内研修					
主な行事等		季節の行事(凧あげ、節分、ひな祭り、夏祭り、収穫祭、ハロウィン、クリスマス) プール活動、買い物体験、毎月の誕生日会													